

令和5年度 奄美市居住支援協議会 活動報告

1.協議会の運営

(1) 専門部会による協議

- ・今後の体制づくりや住宅確保要配慮者向けの住宅の掘り起こしについて意見交換を実施。
 - 第1回専門部会 令和5年6月8日
 - 第2回専門部会 令和5年8月23日
 - 定例会 令和5年12月14日
- ・安定した住まいを必要としている配慮者については、住まいを確保する以前の問題とし、相談者の生活困窮問題の本質を理解しなければならないケースが多く、住まいが確保できた後も、生活支援が必要となるよう配慮者も多い。こうした背景から当協議会では、住宅確保要配慮者に対する住まいの提供を主な目的としているものの、当事者の様々な生活背景に対応できるよう既存の相談体制をもとに地域のネットワークのさらなる連携を図る必要があることを共有した。
- ・専門部会での多業種間における協議を通して、情報提供であったり、今後の取組みについての課題や新たな解決の糸口を共有する事が出来た。

2.周知・普及活動

(1) 広報誌にてセーフティネット住宅制度について掲載

(2) 事例発表

- ・令和5年鹿児島県居住支援臨時総会 (令和5年6月8日)
- ・令和5年九州厚生局地域共生セミナー (令和5年12月8日)

(3) イベント実施

- ・空き家×居住支援イベント実施 (令和6年1月6日)

(4) 個別訪問

- ・サービス付き高齢者向け住宅の空き室の活用について、セーフティネット住宅制度紹介を実施 (令和5年8月14日)
- ・塩浜町空き家現地調査 (令和5年11月2日)
- ・塩浜町空き家所有者との協議 (令和5年11月30日)

3.先進地視察

視察先：大牟田市居住支援協議会

日程：令和5年9月6日(水)

参加者：大牟田市居住支援協議会会長 牧島 誠吾

奄美市社会福祉協議会 山田課長

奄美市プロジェクト推進課 小林

居住支援活動において先進的な取り組みを行っている大牟田市居住支援協議会との連携

構築を目的とし、視察を行った。

大牟田市居住支援協議会における、住宅確保の相談から生活支援までの流れについては、手続きがシンプルで明確なスキームとなっており、入居前のアセスメントに時間をかけて、入居後のトラブルを未然に防ぐ事が必要であると感じた。

国の制度にとらわれる事なく、居住支援の本質に目を向けた取組みが重要であり、セーフティネット住宅の登録を目指すのではなく、目の前の住宅確保要配慮者の住まい確保を支援し、安心して暮らせる地域づくりが目標であることを再認識した。



専門部会実施状況



空き家×居住支援イベント実施状況